

目次

デバイスの追加	1
BioStar 2サーバーにデバイスを追加	1
RS-485インターフェースを通じてアクセスされたスレーブデバイスの追加	5
動画デモ	7

システム構成, BioStar 2, デバイス

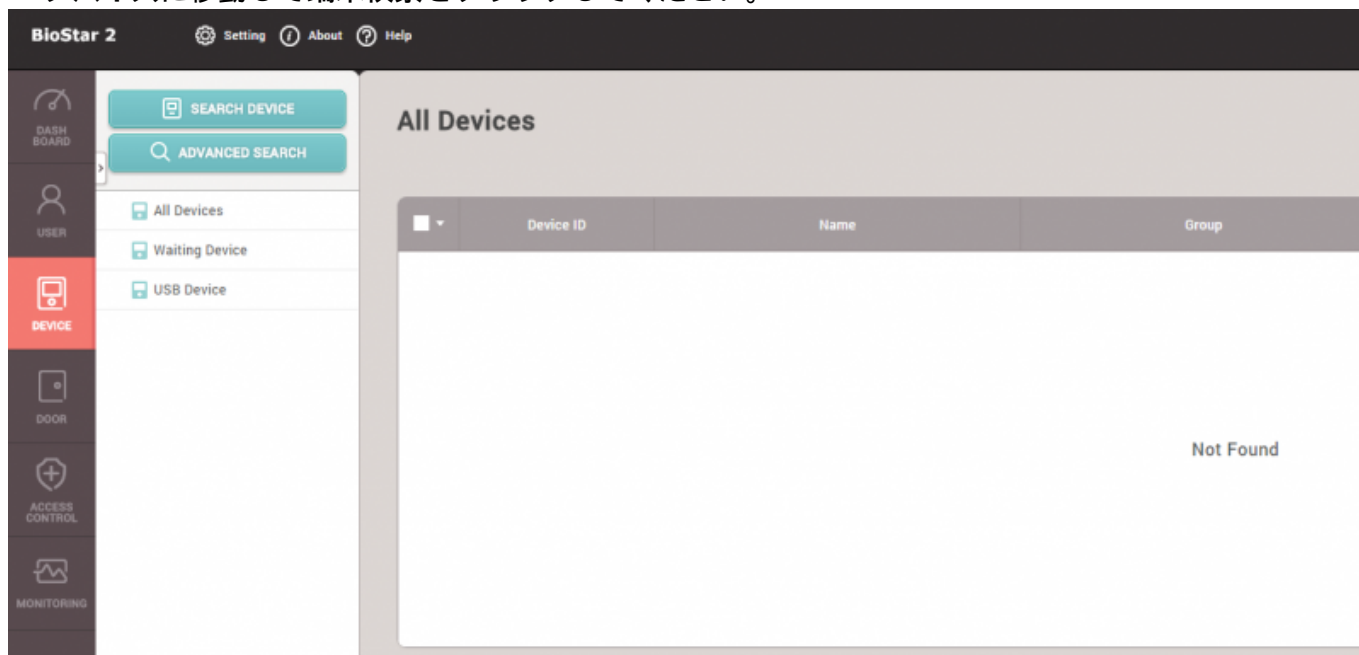
デバイスの追加

BioStar 2は端末の2つの接続モードをサポートします。

機能	BioStar 1.x		BioStar 2	
モード	ダイレクト	サーバー	デバイス→サーバー	サーバー→デバイス
リアルタイムログアップデート	クライアントにのみ	0	0	0
自動再接続	X	0	0	0

BioStar 2サーバーにデバイスを追加

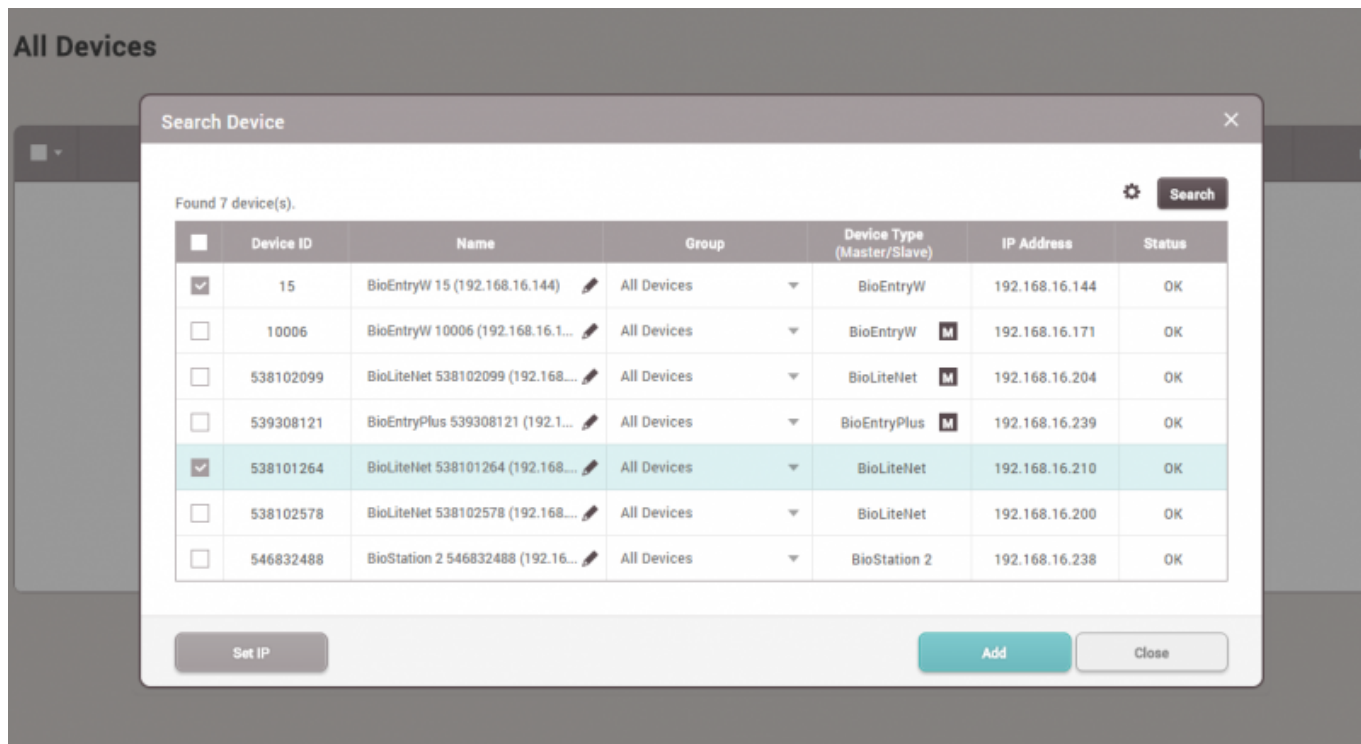
1. デバイスに移動して端末検索をクリックしてください。



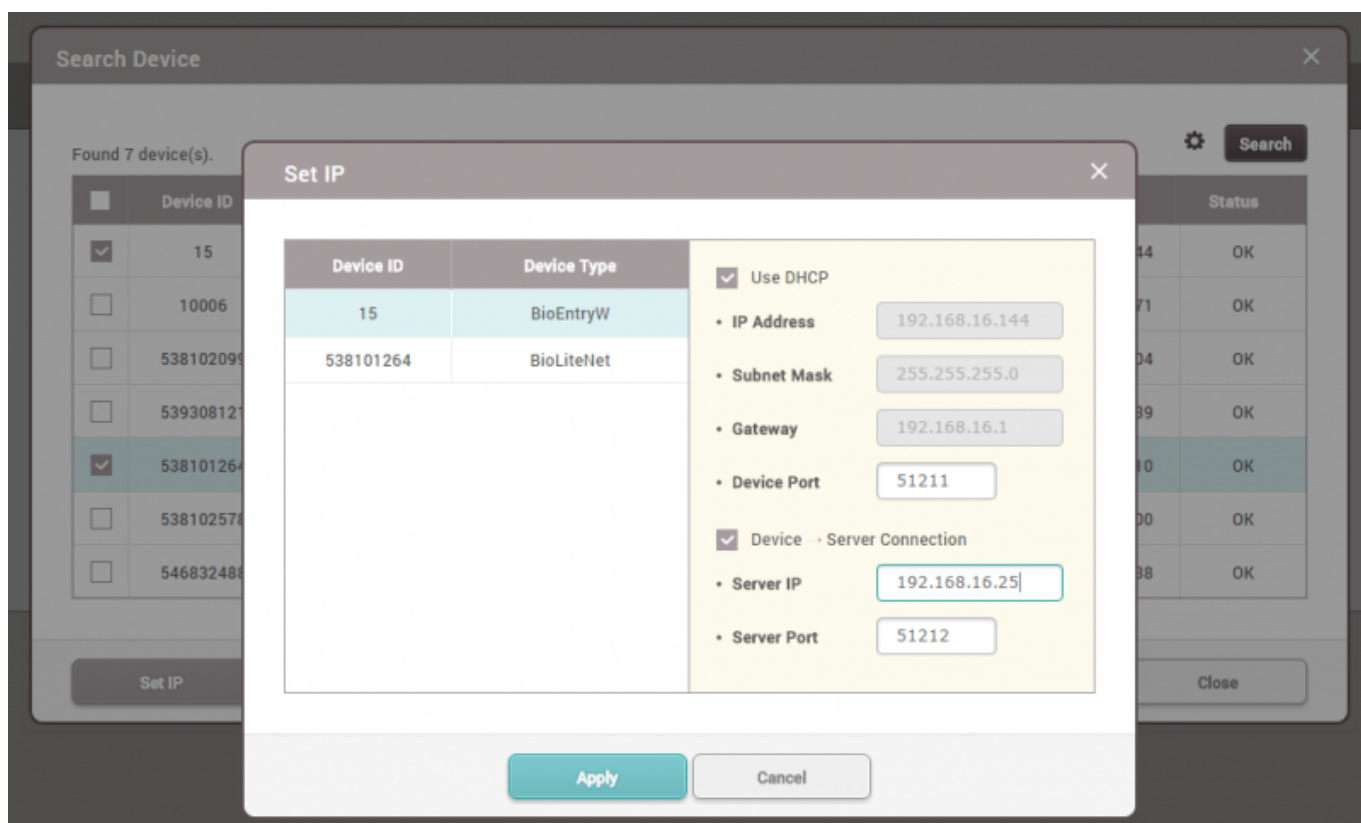
2. サーバーに追加するデバイスを選択します。BioStar

2には、**デバイス→サーバー**および**サーバー→デバイス**

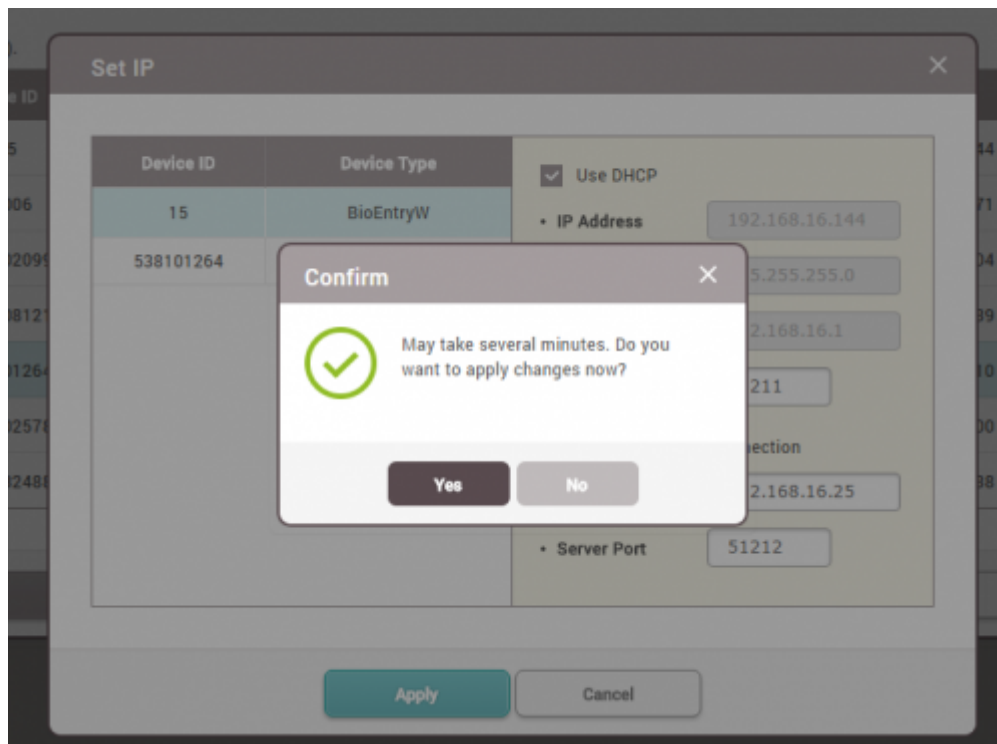
の2つの通信モードがあります。この2つに機能上の違いはありません。しかし、**デバイス→サーバー**の方向は、指定されたサーバーからのデバイスリンクが変更されたり切れたりするのを防止することができます。



デバイスのIPアドレスを変更したり、通信モードを**デバイス→サーバー**に変更するには、追加ボタンの代わりに**IP設定**をクリックしてください。



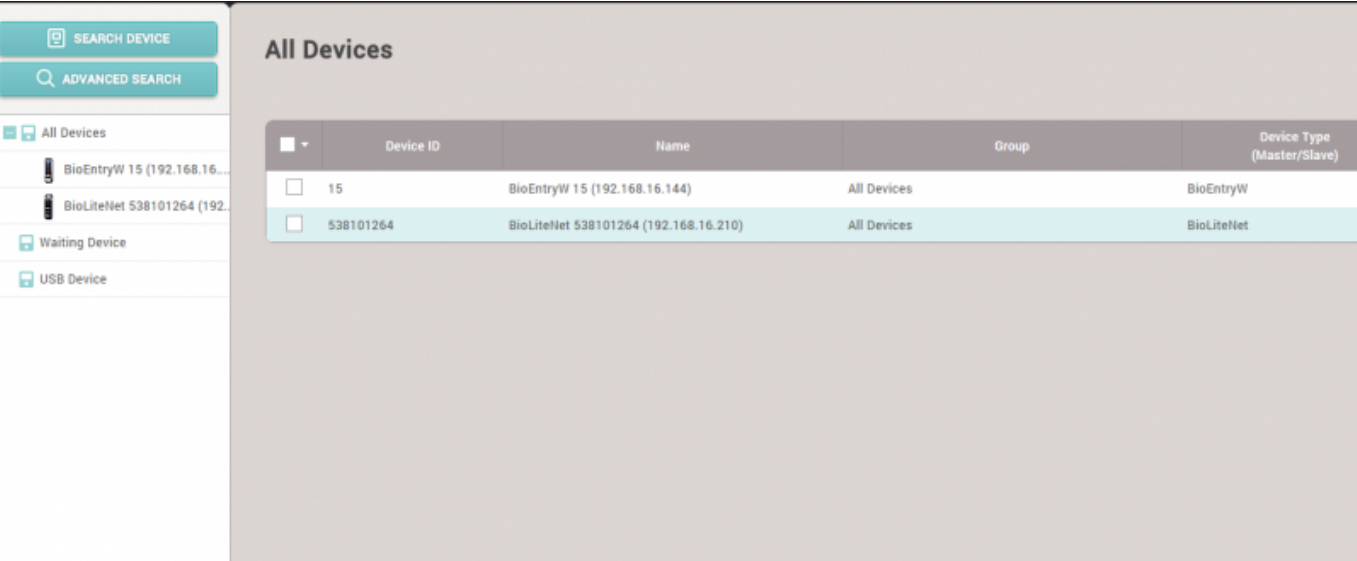
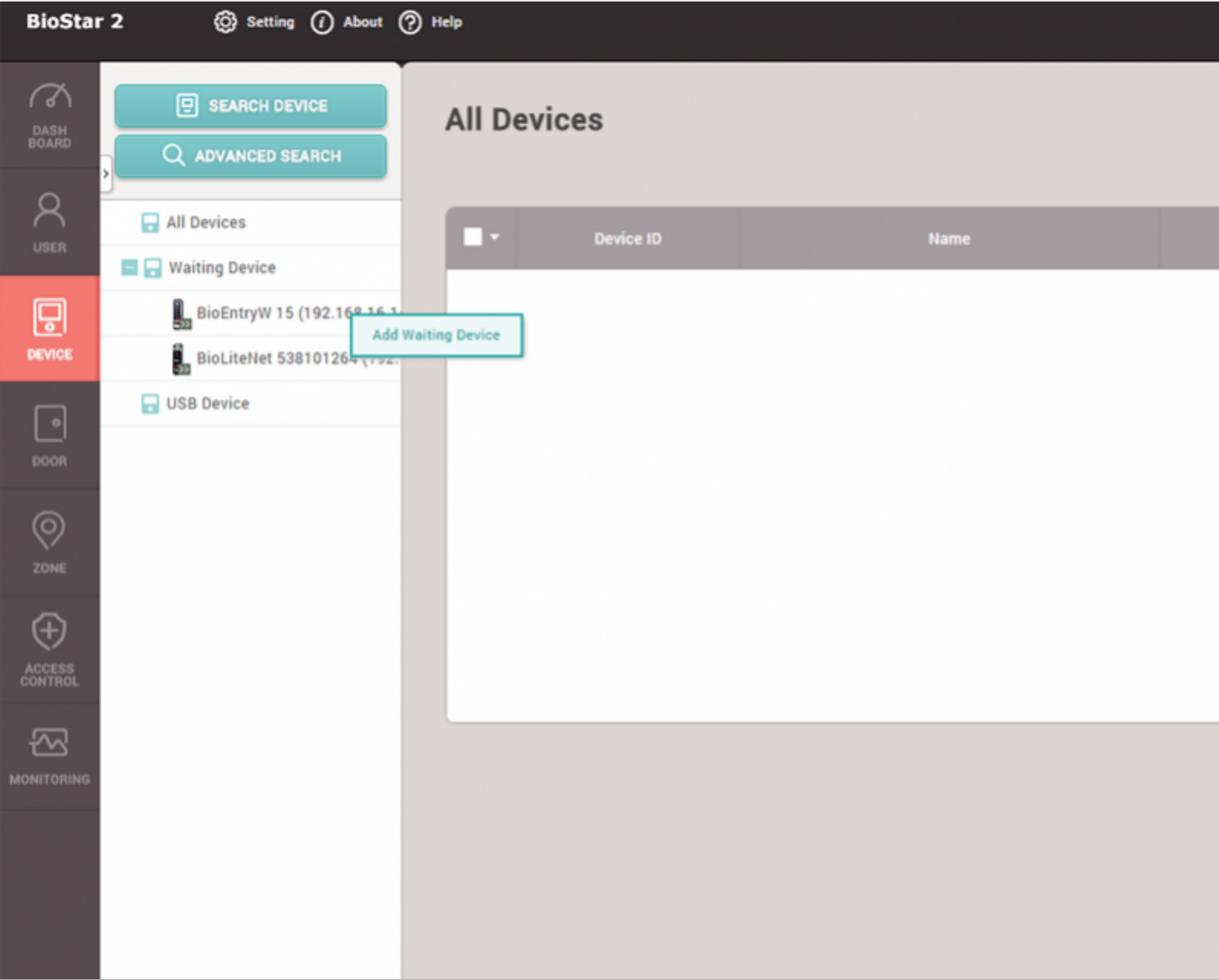
3. サーバーIPアドレスを設定して適用をクリックすると、デバイスが自動的にアクセスを試みます。



4.

デバイス→サーバー方向の場合、デバイスが待機デバイス

リストに表示されます。ブラウザで更新ボタンをクリックして、アクセスを確認してください。BioStar 2がデバイスを認識したらデバイスツリーでマウスを右クリックし、さらに**登録待機デバイス追加**ボタンをクリックしてデバイスを確認すると、サーバーに追加することができます。



RS-485インターフェースを通じてアクセスされたスレーブデバイスの追加

1. 物理的デバイスのリンクを確認して、デバイス設定からデバイスをマスターデバイスに変更します。

The screenshot displays the configuration page for a device, specifically the 'Network' tab. On the left is a sidebar with icons for USER, DEVICE (highlighted), DOOR, ZONE, ACCESS CONTROL, and MONITORING. The main content area is titled 'Network' and contains several sections:

- TCP/IP**: Includes a checked 'Use DHCP' option. Fields for 'IP Address' (192.168.16.210), 'Gateway' (192.168.16.1), and 'Support 100 BASE-T' (set to 'Not Use') are visible. On the right, labels for 'Subnet Mask', 'Device Port', and 'MTU Size' are present.
- Server**: Includes a checked 'Device - Server Connection' option and a 'Server IP' field set to 192.168.16.25. A 'Server Port' label is on the right.
- Serial**: Includes an 'RS485' dropdown menu currently showing 'Default'. Other options visible are 'Master', 'Slave', and 'Default'. A 'Baud Rate' label is on the right.
- Authentication**: Features a table with 'Auth Mode' and 'Always' settings, along with an '+ Add' button.

- マスター：論理的決定を下してローカルゾーンを制御します。
- スレーブ：クレデンシャル情報を認識してマスターデバイスに送るダミーリーダーとなります。

2. マスターデバイスが検索できるよう、デバイスを**スレーブモード**に変更してください。RS-485ケーブルを通じてマスターデバイスにアクセスし、物理的配線リンクを確認した後、BioStar 2に移動してください。**デバイス**

メニューに移動してください。デバイスツリーでマウスを右クリックした後、スレーブデバイス検索をクリックしてください。

Network

TCP/IP

- ☒ Use DHCP
- IP Address: 192.168.16.144
- Gateway: 192.168.16.1
- Support 100 BASE-T: ☐ Not Use

Server

- ☐ Device -> Server Connection
- Server IP: 0.0.0.0

Serial

- RS485: Slave

BioStar 2 Setting About Help

All Devices

Device ID	Name	Group
8101264	BioLiteNet 538101264 (192.168.16.210)	All Devices

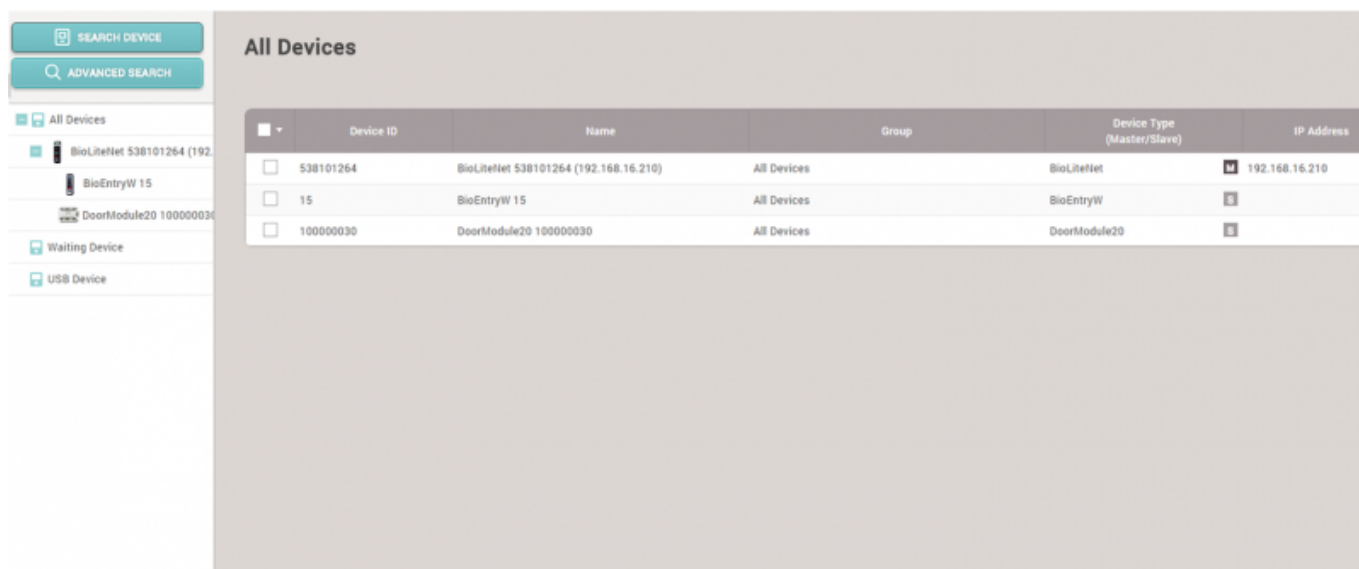
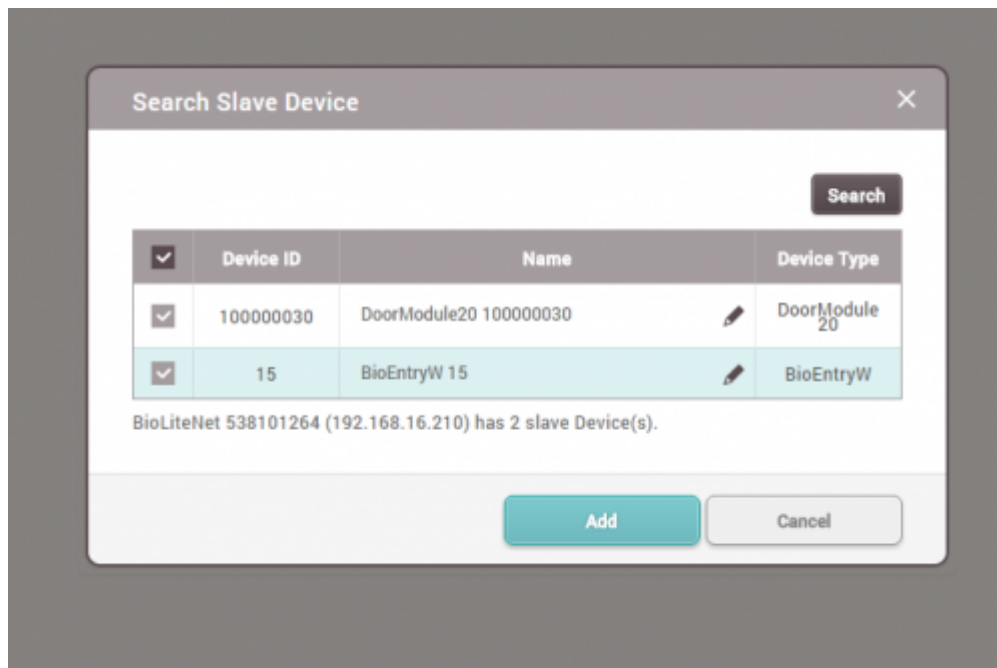
Context Menu:

- Add Wiegand Device
- Search Slave Device
- Reconnect
- Manage Users in Device
- Sync Device
- Reboot
- Delete Device

3.

検索結果を確認し、追加

ボタンをクリックしてください。デージーチェーンを利用して最大31のスレーブデバイスがアクセスでき、そのうち最大8つの指紋デバイスをアクセスすることができます。しかし、同時に複数のデバイスで複数の指紋マッチングを行わなければならない場合には、最適なマッチング性能のため、制限された個数のスレーブ指紋デバイスの使用をお勧めします。



動画デモ

[devices.mp4](#)

From:

<http://kb.supremainc.com/knowledge/> -

Permanent link:

http://kb.supremainc.com/knowledge/doku.php?id=ja:how_to_add_devices&rev=1594875555

Last update: **2020/07/16 13:59**